

アジア太平洋地区 CACSSM 会議

“IT 監査、セキュリティ、ガバナンスのプロフェッショナルのための世界トップレベル会議”
イノベーション。IT との一体化に向けて

2009 年 2 月 23～24 日
ウェスティン都ホテル
(京都)



会議のハイライト：

- 英語による発表と日本語での同時通訳
- パナソニック株式会社およびトヨタ自動車株式会社の日本人業界エキスパートによる 2 つの基調講演
- 会議に対する理解を深める会議前のワークショップ

今すぐオンライン参加申し込み
www.isaca.org/asiacacs

最大 **21** CPE 単位時間を取得！



アジア太平洋地区 CACSSM 会議

2009年2月23～24日
ウェスティン都ホテル
(京都)

ISACA[®]主催のアジア太平洋地区 CACSSM 会議で、スキルを高め、知識を深め、参加者とのネットワークを広げましょう。

このイベントは、アジア地区でIT監査、コントロール、セキュリティに従事する専門家を対象とした、最も総合的なトレーニングです。世界中の講演者が一堂に会するこの会議では、ビジネス、経営、業務の観点から、IT監査やセキュリティの課題に対処するための最新戦略に焦点を当てます。会議のセッションでは、リスクや機会を特定するとともに、新たな技術やシステムアプローチに焦点を当てます。

参加者は、最大21時間分の継続専門教育 (CPE) 単位を取得できます。

会議スポンサー

(印刷時に記載)

ゴールドスポンサー

Deloitte.

ERNST & YOUNG
Quality In Everything We Do

ブロンズスポンサー

CASEWARE
IDEA INC.

KPMG

アジア太平洋地区コンピューター監査、コントロール、セキュリティ (CACS) の今年の目玉は、会議両日に行われる2つのオープニングセレモニーです。基調講演を行ってくださるのは、世界的著名企業、パナソニック株式会社およびトヨタ自動車株式会社の日本人業界エキスパートの御両名です。



1日目基調講演

パナソニックのITガバナンス

牧田孝衛

常務役員 情報システム担当
パナソニック株式会社



2日目特別セッション

Internal Control: グローバル経営における内部統制のあるべき姿

辻晶仁

常務役員
トヨタ自動車株式会社

参加対象者：

- IT監査マネージャー
- IT監査プロフェッショナル
- ITガバナンスプロフェッショナル
- 情報セキュリティマネージャー
- 情報セキュリティプロフェッショナル
- 保証プロフェッショナル
- ITプロフェッショナル
- シニアおよびエグゼクティブマネージャー
- CIO、CISO等の経営幹部

セッションには、さまざまな教育テーマが盛り込まれています。ご参加いただくには、最低3年以上のITガバナンス、管理、監査/保証、セキュリティの経験が必要です。

発表は英語で行い、日本語で同時通訳します。発表資料は英語です。

会議テーマ：

- ITガバナンス、監査/保証、コントロールおよびリスク管理
- 情報セキュリティ管理およびガバナンス

会議テーマ

テーマ1—IT ガバナンス、 監査/保証、コントロールお よびリスク管理

IT ガバナンスはエンタープライズ
ガバナンスに不可欠な要素です。組
織の戦略、目標および目的を整合さ
せるとともに、それらを持続し拡大
させるためには、IT ガバナンスを取
入れる必要があります。IT 監査機能
により、組織がリスク分析に基づ
く堅固な IT コントロール環境を築
き上げることを確実にします。セッ
ションでは、概念、技術、方法、フ
レームワークに焦点を当て、IT ガ
バナンスや監査を効果的に実施す
るために必要な総合的理解をIT プロ
フェッショナルの方に提供します。

111—CobiT® と ISO/IEC 38500 M L を使用したガバナンス実施

Robert Stroud

ITSM (IT サービス管理) 部門ヴ
ァイス プレジデント、IT ガバナンス アナ
リスト

CA, Inc. (アメリカ合衆国)

セッションの内容：

- IT ガバナンスの原則とビジネスと
IT の整合性
- 情報通信技術 (ICT) ガバナンス基準
ISO/IEC 38500
- ICT ガバナンスと *Control Objectives for
Information and related Technology* (CobiT®)
の調整
- CobiT と ISO/IEC 38500 のマッピング
- CobiT と ISO/IEC 38500 を併用した実
用的なアドバイス

121—E政府プロジェクトの IT ガバナンス S M

Michael Wai-Kei Yung, CISA, CISM

製品・サービス部門ゼネラルマネージャ
ー

ESD Services, Ltd. (香港)

セッションの内容：

- E 政府の主要段階および構成要素
- E 政府プロジェクトの重要成功要因
- E 政府プロジェクトの戦略マップ
作成
- IT ガバナンス原則のプロジェクト
への適用
- 香港での導入から得た教訓

131—品質保証とIT 監査の整合性 P

Nalin Wijetilleke, CISA

事業継続部門マネージャー
RAKBANK, (アラブ首長国連邦)

セッションの内容：

- ユーザの期待に応える上での課題
- IT の価値向上を実現する手段として
の IT 品質保証
- 品質、効果、効率に対する現行プ
ロセスの見直し
- 従来の品質標準と比較して人気の
高いガバナンス フレームワーク
- マトリックスをどのように展開し
て、積極的な品質管理に利用すべき
か
- IT の継続的改善テクニックの応用
- 品質保証を通して、どのように監
査コンプライアンスを改善するか

221—IT ガバナンス プロフェッ ショナルの 5 つの罫 M L

Robert Stroud

ITSM (IT サービス管理) 部門ヴ
ァイス プレジデント、IT ガバナンス
アナリスト

CA, Inc. (アメリカ合衆国)

セッションの内容：

- IT ガバナンス実施における 5 つのよ
くある誤りとその回避方法
- IT ガバナンスの適正水準
- 適切な IT ガバナンスの定義方法
- 測定が重要な理由および測定方法
- 誰が IT ガバナンスを担当し、どのよ
うに管理するか

231—日本文化における IT コント ロールと監査の検討 M

堀江正之

商学部教授
日本大学

セッションの内容：

- 日本の IT 監査人のジレンマ
- IT 監査員は、保証型監査または助
言型監査をどのように管理できるか
- IT コントロールと監査の各側面
- 日本版 Sox 法の考察

241—ガバナンス管理機能の重要 な成功要因 S M

Ben Rageth, CISA, CISM

金融サービス部門ディレクター
あらた監査法人

セッションの内容：

- 重要な成功要因
- ガバナンス機能、その役割と権能
- バランスドスコアカード (BSC)
モデルの基本と、その 5 つの特徴
- BSC の特徴別に見た、ガバナンス機
能の一般的な重要成功要因

テーマ2—情報セキュリ ティ管理とガバナンス

情報セキュリティ専門家、マネージャ
ー、IT 監査プロフェッショナル
を対象とするこのテーマの目的は、
効果的なセキュリティ管理慣行から
成る主要な要素と基礎を、組織のセキ
ュリティ管理プログラム全般の中で
明確に理解することにあります。
セッションでは、問題点、およびそ
の解決に要する主要なコンピテンシー
を特定していきます。また、公認情
報セキュリティマネージャー®
(CISM®) 認定の取得を目指す参加者
に興味深い内容となっています。

112—情報セキュリティの測定と 評価指標 M

Avinash W. Kadam, CISA, CISM

ディレクター
MIEL e-Security Pvt., Ltd. (インド)

セッションの内容：

- 評価指標と測定の違い
- 優れた情報セキュリティ管理システ
ムの測定
- 非技術的セキュリティの測定
- 技術的セキュリティの測定
- 最も効果の高い測定結果の分析と
提示の方法

122—情報セキュリティガバナンス と ISACA 体系的セキュリティ管理 モデル M L

Kyeong Hee Oh, CISA, CISM

ディレクター
Fullbitsoft (韓国)

セッションの内容：

- 情報セキュリティ ガバナンス
- 取締役会と経営幹部の役割
- 体系的な思考
- ISACA 体系的セキュリティモデル
- 組織全体にわたる適切なセキュリ
ティの構築方法

教育対象

- P プラクティショナー (経験 3 ~ 5 年)
- S シニア プラクティショナー (5 年以上の経験)
- M マネージャー
- L リーダー (エグゼクティブ)

2009年2月23~24日
ウェスティン都ホテル
(京都)

132—情報セキュリティ管理とコントロール：セキュリティが有効なビジネスの展開 P S

Douglas Chin Huang Lee, CISA, CISM
技術的品質保証部門アーキテクト
Microsoft Corp. (アメリカ合衆国)

セッションの内容：

- セキュリティが有効なビジネスのフレームワークに対する実務家の考え方
- セキュリティ プロセスの定義
- リスク評価と意思決定支援
- 脅威とリスクのモデル作りのためのセキュリティ マトリックスの利用
- 改善、コントロール、継続監視の行動計画の策定
- 次の対策の企画

222—事業継続管理 S M

Hugh Penri-Williams, CISA, CISM
シニアセキュリティ アドバイザー
Glaniad 1865 (フランス)

セッションの内容：

- 事業継続管理の重要な要素
- 事業継続への投資タイミングと、投資対象案件
- 事業継続における効果的なリスク管理
- 効果的な計画の文書化、および計画の検証と測定

232—エンタープライズ セキュリティ アーキテクチャ S M

Douglas Chin Huang Lee, CISA, CISM
技術的品質保証部門アーキテクト
Microsoft Corp. (アメリカ合衆国)

セッションの内容：

- エンタープライズセキュリティ アーキテクチャ (ESA) の概念と構成要素
- ESA のメリットとビジネス上の価値
- ESA 導入要素
- 企業規模で導入するためのセキュリティ技術の活用
- ESA 導入から得た教訓

242—CobiT[®] および ISO/IEC 27000 シリーズ S M

Hugh Penri-Williams, CISA, CISM
シニアセキュリティ アドバイザー
Glaniad 1865 (フランス)

セッションの内容：

- 情報セキュリティ管理とガバナンスの概念
- ISO/IEC 27000 シリーズの基本構成要素
- 情報セキュリティとその管理の ISO/IEC 標準の将来
- CobiT の情報セキュリティ要素
- ISO 標準は、CobiT および優れた IT ガバナンスの主要コントロール要件をどのように満たすか

会議前のワークショップ

会議に対する理解を深めるため、会議前のワークショップにご参加いただけます。今回の全日ワークショップでは、ケーススタディやグループワーク、デモンストレーションを通して技術と方法を学んでいただくとともに、目的達成のためのツールをご紹介します。

WS1—IT ガバナンスおよび IT 保証のための CobiT[®] の利用：概念から実践まで S M L

原田 要之助, CISA, CISM
主席監査人
株式会社情報通信総合研究所

梶本 政利, CISA
経営コンサルタント (自営)
日本

伊藤 裕, CISA
情報システム部 IT マネジメント室 室長
トヨタ車体株式会社

CobiT は、IT ガバナンス フレームワークであり、マネージャーが管理要件や技術的問題、ビジネス上のリスクの間の溝を埋めることのできるサポート ツールセットです。現行版 CobiT[®] 4.1 は、法規制の順守を重視し、組織が IT によって実現する価値の向上を促して、調整を実施するとともに、CobiT フレームワークを簡単に導入できるようにするものです。

このワークショップでは、以下を行います。

- CobiT を IT コントロールおよび IT ガバナンスモデルとして、ベンチマーキングおよび事前対処的な保証に使用する方法を考察する。
- ケーススタディに基づく討論により、効果的かつ効率的に CobiT モデルを使用し、IT 監査計画プロセスに統合するための体系的アプローチと導入戦略を提示する。
- を IT ガバナンスモデルとして導入し、業務およびコントロール要件、方針、標準に関連付ける方法について討論する。
- 講演者の考案した段階的方法を提示する。
- サービス品質の向上促進、機を逃さない迅速な実施、そしてリスクとコストの効率的削減により、IT による充実したビジネス サポートを CobiT が実現する方法について、参加者の理解を増強する。

セッションの内容：

- IT ガバナンスと CobiT の関係
- CobiT の原則と構成要素
- IT ガバナンスモデルとして、ベンチマーキングおよび事前対処的な保証を行うための CobiT の利用
- IT ガバナンスモデルとして、業務要件およびコントロール要件、方針、標準に関連付けるための CobiT の導入

- CobiT を監査に統合するための、体系的アプローチと導入戦略
- CobiT を保証およびコンサルティングに使用するための段階的方法

受講要件：

- 3年以上の IT ガバナンス経験または同等の知識
- IT 環境に関する用語、アプローチ、方法、技術を理解していること
- CobiT 基礎コースTM 修了または同等の知識

WS2—情報セキュリティ監査ワークショップ P S

Avinash W. Kadam, CISA, CISM
ディレクター
MIEL e-Security Pvt., Ltd. (インド)

組織にとって重要なのは、情報セキュリティが適切かつ効果的に管理されているという確信を得ることです。このことに対する最も明確な取り組み方法の1つが、適切な情報セキュリティ管理システムの実施、完全なリスク評価の実行、そして許容レベルへのリスク軽減を要件とする国際標準 ISO/IEC 27001:2005 を手がかりにすることです。

このワークショップでは、以下を行います。

- ISO/IEC 標準を基準とした、企業の情報セキュリティ監査の手順を説明する。
- リスク管理プロセスを考察すると同時に、重要な情報資産および、その資産を悪用し、組織に重大リスクを与える可能性のある脅威と脆弱性を特定する。
- コントロールの導入およびコントロール目標の達成の有効性と効率性を探求する。
- 監査プロセスを完了するためにチームに必要な技術スキルを考察する。
- 成功する監査のツールとテクニック、およびこれらのツールを使用する理由と、監査結果の解釈のしかたを説明する。

セッションの内容：

- 情報セキュリティの主な管理コントロール
- 非技術的セキュリティのコントロール
- アクセス コントロールおよびネットワーク セキュリティの技術的コントロール
- アプリケーション セキュリティの技術的コントロール
- セキュリティ監査のためのツール

受講要件：

- 3年以上の情報システム監査経験または同等の知識
- 情報セキュリティ監査に関する用語、アプローチ、方法、技術を理解していること

教育対象

- P プラクティショナー (経験 3 ~ 5 年)
- S シニアプラクティショナー (5年以上の経験)
- M マネージャー
- L リーダー (エグゼクティブ)

会議前 ワークショップ		2009年2月23日 日曜日				2009年2月24日 火曜日			
2009年2月22日 日曜日	会議テーマ	9:00 - 10:30	11:00 - 12:30	13:30 - 15:00	15:30 - 17:00	9:00 - 10:30	11:00 - 12:30	13:30 - 15:00	15:30 - 17:00
WS1 IT ガバナンス およびIT 保証に対する COBITの利用: 概念から実 践まで S M L 原田 要之助, CISA, CISM, 梶本 政利, CISA, 伊藤裕, CISA	テーマ 1 IT ガバナン ス、監査/保 証、コント ロールおよ びリスク 管理	式 会 開	111 CobiT と ISO/IEC 38500 を使用した ガバナンス の実施 M L	121 E 政府プロ ジェクトのIT ガバナンス S M	131 品質保証と IT 監査の整 合性 P	オー プ ニ ン グ セ レ モ ニー	221 IT ガバナン スプロフェ ッショナルの 5つの罫 M L	231 日本文化に おけるIT コ ントロールと 監査の検討 M	241 ガバナンス 管理機能の 重要な成功 要因 S M
			Robert Stroud	Michael Wai-Kee Yung, CISA, CISM	Nalin Wijetilleke, CISA		Robert Stroud	堀江正之	Ben Rageth, CISA, CISM
WS2 情報セキュ リティ監査 P S Avinash W. Kadam, CISA, CISM	テーマ 2 情報セキュ リティ管理 およびガバ ナンス	講演者 牧田孝衛, 常務役員 情報システム 担当 パナソニック 株式会社	112 情報セキュ リティの測 定と評価 指標 M	122 情報セキュ リティガバ ナンスと ISACA 体系 的セキュリティ 管理モデル M L	132 情報セキュ リティ管理 とコント ロール: セキュリティ が有効な ビジネスの 展開 P S	講演者 辻晶仁, 常務役員, トヨタ自動車 株式会社	222 事業継続 管理 S M	232 エンタープ ライズ セキ ュリティアー キテクチャ S M	242 CobiT およ び ISO/IEC 27000 シリーズ S M
			Avinash W. Kadam, CISA, CISM	Kyeong Hee Oh, CISA, CISM	Douglas Chin Huang Lee, CISA, CISM		Hugh Penri- Williams, CISA, CISM	Douglas Chin Huang Lee, CISA, CISM	Hugh Penri- Williams, CISA, CISM

教育対象

- P** プラクティショナー (経験 3 ~ 5 年)
- S** シニア プラクティショナー (5 年以上の経験)
- M** マネージャー
- L** リーダー (エグゼクティブ)

オンライン参加申し込み : www.isaca.org/asiacacs!

アジア太平洋地区 CACSSM 会議

2009年2月23~24日
ウェスティン都ホテル
(京都)

一般情報

参加料 (US ドル)

会議

会員.....\$950
非会員.....\$1,150

会議前のワークショップ

会員.....\$450
非会員.....\$650

会場および宿泊施設

古と現代が調和するまち、京都は、日本における文化と歴史の首都となっています。今年の会議はこの京都で開催されます。1,800以上の寺院や神社が存在するこの都市は、古都の美と現代都市の魅力が共存し、毎年3,800万人の観光客を迎え入れています。

ウェスティン都ホテル

東山区三条ヶあげ
京都市(日本)
電話: +81.75.771.7111
ウェブサイト: www.starwoodhotels.com
客室料金: 21,000円(シングル)
25,000円(ダブル)

(朝食込)
宿泊予約締切日: 2009年1月29日

ISACAは、会場ホテルに特別割引料金をご用意しています。会議開催地での滞在、ほかの参加者の方々との情報交換、費用節約のメリットを十分にご活用ください。宿泊のご予約は直接ホテルまでお願いいたします。

消費税: 2009年アジア太平洋地区 CACS 会議に関して、ISACAは日本の国税庁の税法に準拠している「免税事業者」です。上記参加料に適用税は含まれません。参加料金をISACAがすべて受領した時点で、全額が支払われたとみなされます。参加料にともなう税金は、受取人の責任で当該税当局に納付されます。

継続専門教育の履修単位

公認情報システム監査人TM (CISA[®])、公認情報セキュリティマネージャー[®] (CISM[®])、CGEITTM (Certified in the Governance of Enterprise ITTM) を維持するため、資格保持者には、ISACA 継続専門教育方針に従って、3年間で120継続専門教育時間を取得することが求められます。参加者は、最大21 CPE 単位を取得できます。アジア太平洋地区 CACS 会議への参加は14 CPE 単位、会議前のワークショップへの参加は7 CPE 単位です。

特別手配

お食事に関するお申し込みがある場合、または手配が必要な場合は、会議部門へご一報の上、参加申込書の関連する欄にもれなく記入してください。ISACA が最善の対応をできるように、ご希望の手配の種類について詳しくお書きください。この件に関するご質問やご懸念については、会議部門へ Eメール conference@isaca.org または電話 +1.847.660.5585 までご連絡ください。

ビザは、参加者の責任において取得してください。詳細は、お住まいの地域にある開催国の政府機関にお問い合わせください。参加料の受領が確認され次第、ご要望があれば ISACA より招待状を発行いたします。

環境保護

紙の節約を目指して、ISACA 会議は環境保護を推進しています。会場でご記名の際、ISACA 会議参加者には、最新の会議発表資料を収録したフラッシュドライブまたは CD (イベントにより) をお渡します。これにより、参加者は、各自のノート PC で発表を閲覧したり、会議中にメモを取ったりできるようになります。さらに、会議の2週間前からすべての会議発表資料にアクセスして、興味のある発表を閲覧していただくことが可能です。また、ハードコピー印刷をして、会議に持参していただくこともできます。注: 会議会場に印刷ステーションの用意はありません。ご質問がありましたら、会議部門 conference@isaca.org または +1.847.660.5585. へお問い合わせください。

服装

アジア太平洋地区 CACS 会議および ISACA主催のすべての会議・イベントにおいては、ビジネスカジュアルとさせていただきます。

免責事項

本パンフレットに記載されている情報は、印刷時のものです。予期せぬ事態が発生した場合、ISACA はプログラムの内容を変更または削除する権利を保持します。資料は、IS 監査やコントロール、セキュリティ、ガバナンスに従事する ISACA 会員およびその他参加者を対象とし、その職業能力開発を目指して作成されています。発表者または ISACA のいずれも、会員の事業活動においてこの資料の使用により発生する法的責任または職業上の責任を負うものではありません。ISACA に代わってプレゼンテーションの準備および実施に使用されるすべての資料は、講演者が独自に作成した資料であるか、または当該プレゼンテーションに関連するあらゆる使用権や複製権、そして講演者同意書に定められるとおり、ISACA へ権利を付与するあらゆる権限を講演者が有する資料です。講演者同意書で付与される権利に従って、すべての適用可能な著作権、企業秘密、およびその他の知的所有権は、講演者に帰属しています。

注: 形式を問わず、プレゼンテーションおよびワークショップを許可なく記録することを禁じます。

参加申込方法

参加申し込み方法を次から1つお選びください

1. **オンライン登録** www.isaca.org/asiacacs
2. ファックスで記入済み参加申込書を +1.847.253.1443 まで送信
3. 記入済み参加申込書を以下まで郵送:
ISACA
1055 Paysphere Circle
Chicago, IL 60674 USA
4. **US ドル建て電子決済**で以下まで電信送金:
Bank of America
135 S LaSalle St
Chicago, Illinois, USA 60603
ABA #0260-0959-3
ISACA Account #22-7157-8
S.W.I.F.T. code BOFAUS3N
[送金結果通知に参加者名および「AsiaCACS」とご記入ください。]

お得な情報! ISACA 会員申込

非会員の方は、今日から ISACA 会員特典をご利用いただけます。会員と非会員の会議参加料の差額は、ISACA 会費に充てることができます。追加料金なしで、国際および支部レベルの会員になるチャンスです。この特典の利用をご希望の場合は、参加申込書にある該当ボックスにチェックマークを入れてお申し込みください。ISACA 会員についての詳細は、ウェブサイト (www.isaca.org/membership) へアクセスしていただくか、会員部門まで Eメール membership@isaca.org にてお問い合わせください。

注: この特別オファーの締め切りは、本イベントの終了後30日までとなっています。非会員の方は、参加申し込み時に非会員向けの料金をお支払いください。

1. 下記の情報をブロック体でご記入ください。“英語で用紙に記入してください” オンライン参加申し込み: www.isaca.org/asiacacs

氏名 (Mr., Mrs., Ms., Miss) _____ (名) _____ (ミドルネーム) _____ (姓)

役職 _____ 勤務先電話番号 _____

勤務先 _____ 勤務先ファックス番号 _____

名札に表示する名前 (名またはニックネーム) _____ Eメール _____

会社または ご自宅の住所 (チェックマークを入れてください) 住所変更

番地 _____

市町村 _____ 都道府県 _____ 郵便番号 _____ 国 _____

代表者、講演者、出展者に渡される参加者名簿に、私の住所を載せないでください。

ISACA 会員? はい 会員番号 _____ いいえ

AC2009

2. 参加するセッションを○で囲んでください。

2009年2月 22日 日曜日	2009年2月23日 火曜日			2009年2月24日 火曜日		
	9.00-17.00	11.00-12.30	13.30-15.00	15.30-17.00	11.00-12.30	13.30-15.00
WS1	111	121	131	221	231	241
WS2	112	122	132	222	232	242

2. 参加料金 希望するものを○で囲んでください。(料金はすべて米ドルで表記されています)

会議参加料

会員 US \$950
 非会員 US \$1,150

会議前のワークショップ参加料

WS1—ガバナンスおよび IT 保証のための CobIT の利用 会員 US \$450 非会員 US \$650
 WS2—情報セキュリティ 監査 US \$450 US \$650

合計 (上で選択したものをすべて足してください。) \$ _____

消費税: 2009 年アジア太平洋地区 CACS 会議に関して、ISACA は日本の国税庁の税法に準拠している「免税事業者」です。上記参加料に適用税は含まれません。参加料金を ISACA がすべて受領した時点で、全額が支払われたとみなされます。参加料にともなう税金は、受取人の責任で当該税当局に納付されます。

3. お支払い方法

料金を同封。(ISACA 宛の米国の銀行に振り出される US ドル小切手)

電信送金 (US ドル) 送金日 _____
 (注: 電信送金や小切手の郵送をご利用になった場合、ISACA へ到着するまでに 10 営業日以上かかることがありますので、余裕を持ってご準備ください。)

クレジットカード Visa マスターカード アメリカン・エクスプレス ダイナースクラブ
 (注: クレジットカードでのお支払いはすべて、US ドルにて精算されます)

クレジットカード番号 _____ 有効期限 _____

クレジットカード名義人氏名 _____

クレジットカード名義人署名 _____

クレジットカードの請求先住所 (上記と異なる場合) _____

ビザは、参加者の責任において取得してください。詳細は、お住まいの地域にある開催国の政府機関にお問い合わせください。参加料の受領が確認され次第、ご要望があれば ISACA より招待状を発行いたします。

お得な情報! ISACA 会員申し込み

非会員の方は、今日から ISACA 会員特典をご利用いただけます。会員と非会員の会議参加料の差額は、ISACA 会費に充てることができます。追加料金なしで、国際および支部レベルの会員となるチャンスです。この特別オファーの締め切りは、本イベントの終了後 30 日までとなっています。この機会をお見逃しなく今すぐお申し込みを!





この特典のご利用を希望される場合は、下記の該当ボックスにチェックマークを入れてください。

会員向け会議参加料と非会員向け会議参加料の差額を、ISACA 会費に充てることを希望します。

ISACA への入会申し込みをもって、会員は協会およびその支部、IT Governance Institute® (ITGI®)、その職員、役員、会員、受託者、従業員、代理店の作または不作為を免責にするとともに、協会および機関の目的をそれぞれの規則に従って実践し、協会の倫理規定 (www.isaca.org/ethics) に従うことに同意するものとします。

注: この特別オファーの締め切りは、本イベントの終了後 30 日までとなっています。非会員の方は、参加申し込み時に非会員向けの料金をお支払いください。

4. 参加申込方法

- A.  オンライン申込: www.isaca.org/asiacacs
- B.  記入済み参加申込書を以下までファックス送信: +1.847.253.1443.
- C.  記入済み参加申込書を以下まで郵送:
ISACA, 1055 Paysphere Circle, Chicago, Illinois 60674 USA.
- D.  電信送金: US ドル建てで以下の振込口座まで電信送金:
Bank of America, 135 S LaSalle St, Chicago, Illinois, USA 60603
ABA #0260-0959-3, ISACA Account #22-7157-8, S.W.I.F.T. code BOFAUS3N
[送金結果通知に参加者名および「AsiaCACS」とご記入ください。]

5. キャンセル規約

電話や Eメール、ファックスにより、2009 年 1 月 21 日以前にキャンセルのご連絡をいただいた場合、会議参加料については 100 ドル、ワークショップ参加料については 50 ドルのキャンセル料を除いた金額を返金いたします。また、次のボックスにチェックマークをお入れいただくと、未払いの会費があればその分の金額が差し引かれます。「会員向け会議参加料と非会員向け会議参加料の差額を、ISACA 会費に充てることを希望します。」2009 年 1 月 21 日を過ぎた場合は返金いたしません。会議当日までいつでも参加者の代理人を指定していただけます。非会員が会員の代理として出席する場合、非会員向けの会議参加料を追加として申し受けます。

注: 参加は、参加料金全額のお支払いをもって確定といたします。確実にご参加いただくために、コースまたはイベント参加料を締切前にお支払いください。電信送金や小切手の郵送をご利用になった場合、ISACA へ到着するまでに 10 営業日以上かかることがありますので、余裕を持ってご準備ください。何らかの理由により、ISACA によってコースまたはイベントがキャンセルされた場合、お支払い済みの参加料のみが払い戻しの対象となります。ISACA は旅費、宿泊費などその他の費用には一切責任を負いません。会場で参加申し込みを行う方や参加料を事前にお支払いいただいていない方には、会議資料をお渡しできない場合があります。苦情や返金などの運営方針についての詳細は、以下のいずれかの方法で ISACA 会議部門までお問い合わせください。電話: +1.847.660.5585, ファックス: +1.847.253.1443 Eメール: conference@isaca.org.

6. 特別手配

お食事に関するお申し込みがある場合、または手配が必要な場合は、会議部門へご一報の上、参加申込書の関連する欄にもれなく記入してください。ISACA が最善の対応をできるよう、ご希望の手配の種類について詳しくお書きください。

お食事に関するお申し込み _____

私は手配を希望します。必要な手配を行うため、私に連絡してください。

この件に関するご質問やご懸念については、会議部門へ Eメール conference@isaca.org または電話 +1.847.660.5585 でご連絡ください。

アジア太平洋地区 CACS プログラム実行委員会



委員長

原田 要之助, CISA, CISM

株式会社情報通信総合研究所

日本

藤井 みゆき, CISA, CISM

パナソニック株式会社

日本

堀越 繁明, CISA

株式会社新生銀行

日本

Kyung-Tae Hwang, CISA

Dongguk University

韓国

伊藤 裕, CISA

トヨタ車体株式会社

日本

Avinash Kadam, CISA, CISM

MIEL e-Security Pvt., Ltd.

インド

Douglas Chin Huang Lee, CISA, CISM

Microsoft Corp.

アメリカ合衆国

Michael Wai-Kee Yung, CISA, CISM

ESD Services, Ltd.

香港



3701 ALGONQUIN ROAD, SUITE 1010
ROLLING MEADOWS, IL 60008 U.S.A.

本パンフレットを以下の方にお渡しください。

- IT 監査マネージャー
- IT 監査プロフェッショナル
- IT ガバナンス プロフェッショナル
- 情報セキュリティ マネージャー
- 情報セキュリティ プロフェッショナル
- 保証プロフェッショナル
- IT プロフェッショナル
- シニアおよびエグゼクティブマネージャー
- CCIO, CISO 等の経営幹部